

(様式3)【岩倉中学校 実施報告書①】

拠点校として取り組んだ実践研究テーマ

- ・ICT機器を効果的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」の充実を図り、思考力・表現力を伸ばす授業づくり
- ・全教員で協力しながら、メンター制度を活用し、全教員の授業力向上を図る授業づくり

実践研究の内容等

月	内容等
5	【拠点校事業① 学力向上実行プラン作成検討会】 <ul style="list-style-type: none">・拠点校と協力校との課題を共有し、小中連携または中高連携における共通の取組についての検討・拠点校と協力校とにおける学力向上実行プラン共有
7	【拠点校事業② 第1回授業づくり交流会】 <ul style="list-style-type: none">・公開授業、学力向上実行プランをもとにした研究会、研修会公開授業での視点(実行プランに基づいた授業を実践できているか)
8	【拠点校事業③ 全国学力・学習状況調査、ステップアップテストの結果、課題の共有】 <ul style="list-style-type: none">・課題を基に実行プランの見直し、授業改善方法や取組内容の見直し
10	【拠点校事業④ 第2回授業づくり交流会】 <ul style="list-style-type: none">・公開授業と授業研究会公開授業、授業研究会での視点(実行プランの見直しに基づいた授業を実践できているか)
	【拠点校事業⑤ 協力校の公開授業参観】(3回)
	【拠点校事業⑥ 校内学び合い月間】(1ヶ月間で、他の教員の授業を見学し学び合う)
1	【拠点校事業⑦ 第3回授業づくり交流会】 <ul style="list-style-type: none">・公開授業と授業研究会公開授業、授業研究会での視点(一年間の取組の振り返り)

(様式3)【岩倉中学校 実施報告書②】

学力向上実行プラン
作成検討会

授業づくり研修会
指導案検討会

公開授業①
授業研究会

学力調査・ステップ
結果分析

授業づくり研修会
指導案検討会

公開授業②
授業研究会

特徴ある取組について

共に学び合う教職員集団を目指して

授業づくり研修会

・第1回目の公開授業では、メンターが中心となって指導案検討を行い、ICT機器を効果的に活用し「主体的・対話的で深い学び」の充実を図り、思考力・表現力を伸ばす授業を考えた。昨年作成した「授業改善チェックリスト」の視点を意識して、タブレットを活用し、小グループで話し合い活動を行い、自分の考えを伝え合う授業に取り組んだ。



公開授業・授業研究会

・授業後の研究会の中で、その授業で生徒がどれだけ変容したかを知ることが次の学習への意欲向上につながる。そのためには、授業後の振り返りで、生徒自身に自分の成長の様子や課題を気づかせることや教員もその振り返りの中で、自分の授業の課題を見つけることが大切であるという意見が出た。小学校では、振り返りの視点を明記した「振り返りカード」を作成して意識付けをしているということで、それを中学校でも取り入れて、小・中での連携を図ることにした。





かんがエル・まちがエル・ふりかエル

「目指す生徒像」

- (A) お互いの良さを認め合い、共に成長できる生徒
- (B) 自分の目標や夢に向かって努力できる生徒
- (C) 自分の思いや考えを表現できる生徒



「目指す生徒像」実現 授業改善チェックリスト

チェック	項目・内容		目標との関連			気づいたことMEMO
			(A)	(B)	(C)	
目標設定	①	その授業の目的（達成目標）や課題を明示し、生徒に理解させることができているか。		○	○	
発問・活動・ 教材・教具	②	生徒が考えやすい（意見を持ちやすい）発問になっているか。			○	
	③	既習事項や生活体験を踏まえた意見や考えを引き出す発問をしているか。				
	④	発表の仕方（形式）を生徒に示すことができているか。				
	⑤	人権を意識した言葉かけができているか。				
	⑥	個別指導など、苦手を克服させるための手立てを考えることができているか。				
	⑦	I C T機器を工夫して活用しているか。				
	対話的・ 協働的	⑧	生徒の意見を発表させる場面（全体またはグループ）が設定できているか。			○
⑨		生徒同士で意見を話し合う機会を作ることができているか。			○	
⑩		助け合って（教え合って）、課題を達成する場面を作ることができているか。	○		○	

**授業改善チェックリスト
（昨年度作成）**

本校では、左の2 1の項目を意識して授業を計画し、授業後も項目に照らし合わせて反省をし、次の授業に生かすことを心がけている。

	発表・ 表現	⑪ 他の生徒の意見を尊重し、さらに自分の考えを深めさせることができているか。	○		○	
		⑫ 他の人の意見をしっかり聞く場面が作れているか。（話している人の方を向く等）	○		○	
		⑬ 生徒が発表しやすい雰囲気を作る（先生も他の生徒も発表した生徒の意見を受け入れてくれる）ことができているか。	○		○	
		⑭ 生徒から出た意見を大切にしながら、授業の目的に合うよう意見を集約することができるか。	○		○	
		⑮ 友達の意見と自分の意見の違いや共有点を確認し、お互いの良さに気づかせることができているか。	○			
	まとめ・ 学びや気づきの 広がり	⑯ 自分の意見や考えを文章にまとめさせたり、他の人に分かってもらえるように説明させたり、表現を工夫させることができているか。			○	
		⑰ 一人の意見を、全体の学びにつなげることができるか。	○	○		
		⑱ 多様な価値観に目を向けさせているか。			○	
	振り返り	⑲ 本時の振り返りの場面が作れているか。			○	
	学びへ 向かう力	⑳ 本時の学びを、実生活でどう生かしていくか考えさせることができたか。			○	
		㉑ 学習したことが、自分の将来の何に役立っていくか考えさせることができたか。			○	

ふりかえり めあてに戻り

わかった、できた！

- ・～が分かった (分からなかった)
- ・～まで分かった
- ・～が楽しかった
- ・～ができた
- ・～をやったら〇〇と思った

もっと次は

- ・～をもっと調べたい
- ・次は～をやりたい
- ・～を練習したい
- ・～を復習したい (予習したい)

発見した

- ・前に習った～を使ったら～
- ・〇〇から～だと思った
- ・前の勉強と～が似ている
- ・この考えのいいところは



ふりかえり

- ・ 小学校と連携した振り返りカード

(様式3)【岩倉中学校 実施報告書②】

取組の流れ

学力向上実行プラン
作成検討会

授業づくり研修会
指導案検討会

研究授業①
授業研究会

学力調査・ステップ
結果分析

授業づくり研修会
指導案検討会

研究授業②
授業研究会

特徴ある取組について

授業の振り返りを効果的に行うためのICT機器の活用

授業づくり研修会

・メンター研修とリンクさせて、ICT機器に詳しい中堅の教員を中心として、若手の教員やICT機器の操作が苦手な教員に、アンケート機能ソフトやジャストジャンプの活用方法についての研修会を企画し、全教員で活用方法を学んだ。気軽に教え合いを行い、アンケート機能ソフトやジャストジャンプを活用した振り返りアンケートを作成し、それを授業で活用する方法について話し合った。



公開授業・授業研究会

・保健体育の授業において、タブレットで自分のプレーの様子を撮影し確認することで、自分の成長に気づき、課題を見つけることができていた。授業の自己評価や感想をジャストジャンプを使ったシートに記入し、報告し合った。今回、アンケート機能ソフトが活用できなかったため、今後アンケート機能ソフトの効果的な活用方法を研究していくことにした。



(様式3)【岩倉中学校 実施報告書②】

取組の流れ

学力向上実行プラン
作成検討会

授業づくり研修会
指導案検討会

公開授業①
授業研究会

学力調査・ステップ
結果分析

授業づくり研修会
指導案検討会

公開授業②
授業研究会

学び合い月間

授業づくり研修会
指導案検討会

公開授業③
授業研究会

特徴ある取組について

授業の振り返りを効果的に行うためのICT機器の活用

授業づくり研修会

・前回できなかったアンケート機能ソフトを活用した振り返りアンケートを作成し、毎時間の英語の授業の中で、生徒の意欲や理解度が確認できるよう質問内容などを修正しながら、効果的な活用方法を考えた。生徒もだんだんと操作に慣れてきており、短時間で振り返りや次回への目標設定ができるようになっている。



公開授業・授業研究会

・英語の授業で、工夫して相手にわかりやすく道案内をする方法を考える授業を行った。ペアになって積極的にコミュニケーションをとり説明することができていた。本時の授業をするにあたり事前にアンケート機能ソフトで得た生徒の意見を参考に、授業の目標を設定し、生徒へのサポートの方法を考えており、生徒の学習意欲や理解の向上を図ることができていた。今回の授業を参考に他の教科でも、アンケート機能ソフトを活用した振り返りを行い、生徒たち各自の振り返りを教師が確認し、次回の授業に活用することで、さらに生徒の学習への意欲向上につながるよりよい方法を考えていきたい。

(様式3)【岩倉中学校 実施報告書③】

取組の成果

ICT機器を効果的に活用し、全教員が「主体的・対話的で深い学び」の充実を図り、思考力・表現力を伸ばす授業づくりを目標として授業研究に励んだ。その中で、生徒の授業の理解度の確認や、学習に対して目標を持った取り組みができるように、振り返りの時間を確保し、その方法を工夫した。タブレットを使ったペアでの話し合い活動を取り入れることで、画面が共有しやすく、気軽に自分の考えを伝え合ったり、質問し合ったり、教え合ったりする機会を増やすことができた。そのため、今までクラス全体での発表には消極的だった生徒が、自信を持って自分の意見を発表している姿が見られるようになり、振り返りの感想にも、次の授業への意欲が感じられるものが増えた。アンケート機能のあるソフトを使っての振り返りは、教師が即座に確認したりデータ化しやすいだけでなく、生徒の意見の共有もできる。教師も、授業後すぐに確認しデータ化できるので、振り返りの感想から授業の課題点を見つけ次の授業で改善しようとする姿勢が高まっている。また、お互いの授業の参観や、研究授業の事前学習などで、教師間にも、気軽に話し合いができる雰囲気ができ、いい刺激を受け合い、何事にも協力し活動できた。

本校の学校力について

全教職員が連携して(協力し合って)、「生徒一人一人の個性を大切にし、進路保障を考えた学力向上に向けた取組」や、「生徒が安心して学校生活を送る環境を整えるための生徒理解や生徒指導」に、最善を尽くして取り組むことができる力をつけることが学校力だと考える。

管理職のマネジメントについて

学校力向上に向けた取組を全校体制で推進するために、校内研修、職員会、学年会等の充実を図った。目標の設定及び具体的な手立てを明確にし、実践に結びつける場を設けることにより、同僚性を構築し職員相互が学び合い、成長を促す職場風土を醸成することができると思った。また、協力校との連携も密に行い、目標の共有、取組を徹底・連動していくことで、実践意欲を高めることができるように努めた。